

第51回全国高校ユネスコ研究大会  
被爆60周年・広島大会を成功させよう

第51回全国高校ユネスコ研究大会～被爆60周年・広島大会

- <大会テーマ> いまこそヒロシマから、心の中に平和のとりでを！
- <会期> 2005年8月3日(水) 12:30～6日(土) 11:30
- <会場> 広島市、江田島市
- <趣旨> 人類史上初の原爆投下と第二次世界大戦の終結から60年。被爆都市広島の地に高校生・若者が集い、今日の世界が抱える紛争や貧困、人権や環境問題など、さまざまな課題を見つめ、人類の知的連帯を促すユネスコ精神に基づいて、明日の人類の福祉と「平和の文化」の創造を求めて研究討議します。また、この大会参加者相互の友好親善を図ります。

<スケジュール>

月日	時間帯	活動内容	場所など
8月3日(水)	午後	開会行事 記念講演 「私の被爆体験と若い世代へのメッセージ」 広島平和記念資料館見学	広島平和記念資料館 見学後江田島へ移動 (貸切バス・貸切船)
	夜	全体会 (オリエンテーション・運営会議)	
4日(木)	午前	特別講義 「科学の平和利用と地球の未来」 報告・発表・意見交換	江田島青年の家・泊
	午後	分科会	
	夜	分科会・全体会(文化交流など)	
5日(金)	午前	分科会(討議・発表準備)	青年の家⇄宮島 (貸切船)
	午後	世界遺産「厳島神社」見学	
6日(土)	午前	広島市平和祈念式典参列 原爆ドーム・慰霊碑めぐりなど 閉会行事 (原爆詩朗読、ヒロシマ・アピール)	広島市へ移動 (貸切船・市内電車) 広島平和記念公園 広島市まちづくり 市民交流プラザ

<講演・講師と分科会指導講師等> (敬称略)

- 記念講演/元広島平和記念資料館長・高橋 昭博
- 特別講義/広島大学名誉教授・葉佐井博巳
- 分科会と指導講師
- 「世界平和」/広島市立大学助教授・水本 和実
- 「国際理解」/広島経済大学教授・中山 修一
- 「地球環境」/広島大学大学院助教授・前空 英明
- 「世界遺産」/広島国際大学教授・石丸 紀興
- 「国際協力」/前力フル事務所長・松本 幸敏
- 「多文化共生」/広島経済大学教授・田中 泉
- 発表/広島国泰寺高 山陽女学園 杉並ユネスコ青年部 広高 広島学院 広島大付属高 広島皆実高
- <主催> 日本ユネスコ協会連盟 全国高等学校ユネスコ活動指導者協議会  
広島県ユネスコ連絡協議会 広島ユネスコ協会 中国ブロック・ユネスコ協議会
- <協賛> 広島市 広島市教育委員会 財団法人広島平和文化センター
- <後援> 文部科学省 日本ユネスコ国内委員会 全国高等学校長会協会  
日本私立高等学校中学校連合会 広島県 広島県教育委員会 江田島市  
江田島市教育委員会 広島大学 財団法人広島市ひと・まちネットワーク



第51回全国高校ユネスコ研究大会開催

「いまこそヒロシマから、心の中に平和のとりでを！」の大会テーマのもと、第五十一回全国高校ユネスコ研究大会「被爆60周年・広島大会」が、この八月三日から六日まで、広島市、江田島市を会場に、全国の高校生、韓国大邱市高校生(約三十名)、アフガニスタンなど海外数か国の高校生と青年が参加して開催されます。全体会・分科会、世界遺産見学、平和祈念式典参列などもりだくさんのプログラムで学習を重ね、体験を報告しあい、三泊四日の共同生活を通じて友情を結び、国際交流を図ります。

大会開催までについては、全国の高校ユネスコ指導教師(広島大附属高、呉・広島高、広島皆実高、岩国商高、岩国・高水高)、

当協会などが会議などを通して準備してきました。そして、大会本番は、生徒の自主活動を原則に運営されます。が、今大会は、プログラムの設計上、水陸にまたがる参加者の移動が余儀なくされており、大会行事周辺のサポートに多くの人手を必要としています。杉並、広島の大学生の援助もいただくことになっていますが、この大会の成功のためには、当協会会員の皆様の協力が必要です。よろしくお願ひします。

# 二〇〇五年度 総会を開催

広島ユネスコ協会は、去る六月一日、広島市まちづくり市民交流プラザにおいて、二〇〇五年度総会を開催しました。

前年度事業については、韓国大邱ユネスコ協会との交流の四年間延長の調印式と大邱訪問団の受け入れ（十月）、今年八月に当地で開催する全国高校ユネスコ全国大会のプリーベントとしての高校生国際理解セミナーの開催（八月）などの大きな事業とともに、世界遺産原爆ドーム絵はがきの着実な普及、平和



の鐘事業への多数の市民の参加、青年対象ハンゲル講座などの開催による自主グループの結成など地道な活動の成果も報告されました。

一方、二〇〇五年度は、①全国高校生大会の支援②青少年の育成③会員の増強と事業活動への参加促進などを重点に、全国高校ユネスコ研究大会の開催（別掲）、被爆六十周年を記念した「被爆証言活動」をテーマとする記念企画、大邱訪問団の派遣などの新規事業を決定しました。あわせて、総額二百七十七万円の予算案も決定されました。また、別掲の役員が決定いたしました。

## 05年度役員

（敬称略）

- ▽名誉会長／秋葉忠利
- ▽名誉顧問／平岡敬
- ▽顧問／永井滋郎、伊東亮三、深崎敏之
- ▽会長／北川建次
- ▽副会長／木村進匡（組織部会・広報部会担当）、高橋昭博（国際部会・平和部会担当）、光田鈔（教育部会担当）、竹沢臣子（文化部会担当）
- ▽理事／（組織部会）常任理事／平岡豊恵、末重文男、松岡盛人、国田繁。理事／

◇清水昌法、◇梶井朝子、山崎芳彦

〈教育部会〉常任理事／○大和喜久男、太鼓矢晋、長迫凱明、足立柳子、崎岡光明。理事／

藤原隆範、林弘子、森田清美〈文化部会〉常任理事／○井尾義信、新川貞之、松原博子、佐々木肇、藤井孝行。理事／

中道紘二、沖本博、小西清彦〈国際部会〉常任理事／○藤井正一、中山修一、永田龍男、松尾昭彦。理事／中谷美保子、柴田幸子、大本文子、平井勇

〈平和部会・世界遺産担当〉常任理事／○亀井章、由田千鶴子。理事／西村憲治、黒瀬真一郎

〈広報部会〉常任理事／○古田碩永、岡平祐次、森本学

〈事務局〉事務局長／山本隆信。事務局次長／上橋穂詔、国田繁（兼）。常任理事／新畑志津夫、藤井孝行（兼）、亀井章（兼）

▽監事／木原亮、奥中正之

（○部会長、◇青年育成担当）

### 被爆六十周年企画（予定）

『被爆六十周年への直言／被爆体験・証言活動の中から』

ユネスコ会員が語る

広島ユネスコ協会にも原爆被

爆者が多くおられます。元原爆資料館長の高橋昭博副会長（平和担当）、木村進匡副会長（組織担当）、被爆の証言活動を続けておられる沼田鈴子さん、山岡ミチコさんなどもそうです。

そこで、これらの方々に被爆六十周年に際しての思いと平和への展望を、「こころの中に平和の砦を」のユネスコ理念とヒロシマの「思想」の接点について語り合ってください。

◇日時 十二月十日（出）

◇会場 広島原爆資料館

◇内容 パネル・トーク

◇出演 副会長／高橋 昭博

会 員／沼田 鈴子

山岡ミチコ

▽司会／木村進匡副会長

◇主催／広島ユ協、共催／広島市平和文化センター（予定）

### 六十年目の八月十五日 心あつたに「平和の鐘」を

00年に始まった「平和の鐘」

（国内ユネスコ統一行動）は、

毎年八月十五日、平和公園に集まり、ユネスコ会員、市民、また平和公園を訪れる旅行者共々平和の鐘を撞いてきました。今年も八月十五日正午を期して鐘を撞きます。とりわけ、今年

は戦後六十周年の記念すべき年で、会員、市民の多くの参

加で不戦・平和の誓いを改めて確認する場にしたものです。なお、毎年、報道機関数社が本行事を取材されます。多数の参加をお願いします。

### 平和の鐘の集い

◇日時 八月十五日（月）

11時30分から12時30分

◇場所 平和の鐘・鐘楼前

◇内容 平和の鐘、韓国大邱協会との交換メッセージ朗読、平和メッセージの記帳・紹介

（お願い）平和部会、事務局

スタッフは11時までに

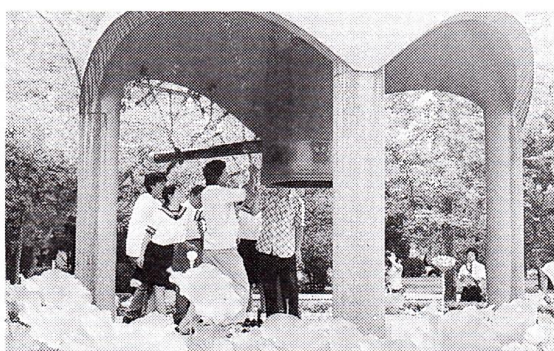
集合

（写真は昨年の様子）

（写真は昨年の様子）

（写真は昨年の様子）

（写真は昨年の様子）



# 新春フエスタ盛大に開催

## 奨励賞と篠笛演奏

国際平和文化都市広島市における国際理解・協力・交流の活動を顕彰する広島ユネスコ活動奨励賞（主催／広島ユネスコ協会、後援／広島市教育委員会）の表彰式と新春コンサートを組



（写真）牛田新町小学校児童代表へ表彰状を贈呈する北川会長

### 第8回広島ユネスコ活動奨励賞公募予定

国際平和文化都市広島市を支える教育現場と地域での取り組みのすぐれた活動を顕彰し、また、世界平和に貢献する国際活動のあり方を求めて、第8回広島ユネスコ活動奨励賞応募者を公募の予定で現在準備中です。

募集要項等は概ね次のようになる見込みです。

- ▽対象／国際理解、国際協力、国際交流に関する継続的活動
  - ▽部門／学校部門（広島市及びその近郊の小・中・高校）  
社会部門（広島市及びその近郊の公民館などで活動する団体）
  - ▽応募方法／募集要項（請求により郵送。学校、公民館等は直接送付）の応募票に必要事項を記入して協会へ提出。
  - ▽公募の期間／9月中旬から11月下旬。
  - ▽表彰／審査委員会を設置して審査し、12月中旬に発表。  
2006年1月中旬に表彰式を行い、賞状、楯を授与。
- × × ×
- 積極的な応募を期待しますが、会員のみなさんには、推せん等のご協力をお願いします。

み合わせた恒例の『ユネスコ新春フエスタ二〇〇五』は、七回目を迎えて一月十六日、エンジェルパルテで開かれました。

第一部の第七回奨励賞表彰式では、まず、審査委員長の日本ユネスコ国内委員で広島経済大学中山修一教授が受賞団体のそれぞれの活動評価を交えながら講評され、続いて賞状と記念のブロンズ楯が次の団体に贈られました。

学校部門は五校。広島市立牛田新町小学校はアメリカカハワイ州ホクラニ二小学校との交流活動。同祇園小学校は広島経済大学の留学生との交流活動。広陵高等学校はネパールの過疎地へ学校

を贈るための募金活動。広島学院高等学校はフィリピンの姉妹校との交換留学生を通じての活動。山陽学園高等学校は独自の留学生受け入れ制度と留学生とともに学ぶ国際理解教育の推進。

社会部門は三団体。アジアと手をつなぐ広島市民の会は幅広い国際交流支援活動。ボランティアネットワークWEは在広外国人への幅広い支援活動。モハニの会はネパールの国際交流活動に対して。

表彰式の最後に受賞団体がそれぞれ活動を発表しました。第二部新春コンサートは、フルート奏者として広島を中心に活動する梶川純司さんの新境地・篠笛の演奏ではじまりました。

「祝い唄」「荒城の月」「竹田の子守歌」「田月の笛」など日本情緒豊かな音色に魅せられ、後半は、梶川夫人美沙子さんのピアノが加わり、梶川さん

### 大邱訪問団員を募集

お得意のフルートで「エーデルワイス」「庭の千草」「アヴェマリア」など、世界の名曲を演奏しました。演奏の合間には梶川さんの真摯で飾り気のない楽しい語りが入り、感動を呼んで熱い拍手が送られました。

表彰式、コンサートに続くパーティーは、和やかな雰囲気

広島ユネスコ協会では、昨年、韓国ユネスコ大邱協会と第二次姉妹協会の調印を行いました。

その提携プログラム第一弾として、第三次訪問団を募集・派遣することになりました。このプログラムの柱として、両協会の交流事業の柱として、相互訪問し、会員間の友好と親善を深めようとするものです。今回は、当協会が「韓国三大名刹巡礼の旅」として三つの有名なお寺巡礼と名物料理を食べることとしています。

の中で受賞団体が入れ替わりメンバーの紹介やスピーチをするなど、ユネスコ会員と受賞者との交歓、交流の場は盛り上がりしました。

こうして、今年も年の始めにふさわしい『ユネスコ新春フエスタ』は閉会しました。

（常任理事・井尾義信）

五 電話二三二―三九七八（）  
（日程 予定）◇十月十七日（月）  
15：30 広島国際フェリー港集合、17：00 同港発（二等室八室あり）◇十月十八日（火）9：00 釜山国際フェリー着・入国手続き、11：00 朝・昼食（彦陽サ―ビスエリア）、12：30 大邱広域市・ニュー嶺南ホテル、13：30 市内観光・買物、19：00 歓迎晩餐会（パークホテル）◇十月十九日（水）11：00 海印寺（ユネスコ世界遺産、八万大藏経）、14：30 昌原市内観光、20：00 伽那山国民ホテル◇十月二十日（木）10：00 松広寺、18：00 釜山広域市東来温泉◇十月二十一日（金）12：00 サヨナラ昼食（海雲台国際見本市レストラン）大邱協会主催

二万一千円、食事代一万六千円、その他）

- ◇募集人員／二十名
- ◇申込みと問い合わせ／八月十日までに藤井正一（〒730-1008 54 広島市中区土橋町六一）
- 13：30 釜山市内観光、15：30 釜山国際フェリー港着・出国手続き、17：00 同港発◇十月二十二日（土）9：00 広島国際フェリー港着。五泊六日（船中二宿）

# 成果をあげる青年語学講座

広島ユネスコ協会では、若い世代にユネスコ活動に関心をもってもらうことを趣旨に、数年前から若者のための語学講座を開設しています。今回も、英語とハンゲルの講座を終了したので、梶井朝子理事からその報告をしていただきます。

## 「ハンゲルに親しむ」講座から自主サークル

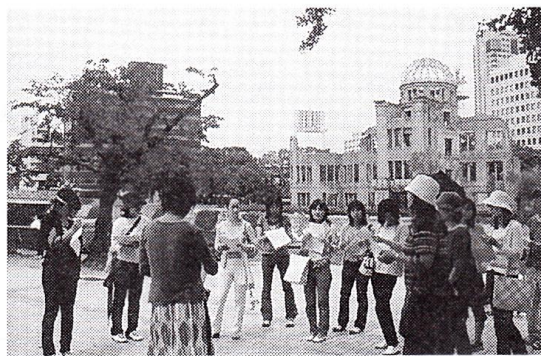
今年一二月、広島市青少年センターとの共催で、ハンゲルの入門講座「ハンゲルに親しむ」(全六回)を開講しました。講師は、広島在住の朴英珍先生。やさしく丁寧に初めて出会うハンゲルを教えてくださいました。約二十名の受講生は、韓流ドラマや映画で興味を持って、という人がほとんど。それだけに熱心な人が多く、出席率も高く、講座の中で「ハンゲルメの集い」として韓国料理の調理実習をした回などは全員参加。朴先生の指導の下、皆でビビンバなどを作って楽しみました。その他にも、先生が持って来てくださっ

たチマチヨゴリを着て写真を撮ったりと、ことば、料理、衣装などを通して、韓国を身近に感じる講座になりました。

講座終了後、受講生に熱心な人が多かったこと、朴先生が大変熱意を持っていらっしゃったことが相まって、自主サークルを立ち上げることにになり、八名のメンバーが集まりました。最初のサークル活動日に、名称もメンバーの提案から「ユネスコ・ハンゲル・サラン」に決定。「サラン」は韓国語で「愛」、近い発音で「人」を意味し、サークルとも似ていることから、愛と人が集まるところ、といったイメージです。男性一名、女性七名。皆社会人ですが、月三回、がんばって勉強を続けています。また、朴先生とメンバーで韓国料理を食べに行ったりと親睦も図りながら、楽しく進めています。

### 【自主サークル活動日】

- ・日時/毎月第一・二・三 月曜日 十九時から
  - ・場所/青少年センター
  - ・会費/月三千三百円
- (講師謝礼含む)



## ユネスコ英語講座第五弾を終了

通算五回目となる広島市青少年センターと共催の英語講座が六月十五日終了しました。今回は「英語をみんなで楽しもう」(Talk Together)の講座名で、講師に広島通訳ガイド協会の梶田祐子先生を迎え、全六回の講座を、毎週水曜日の夜、青少年センターで実施しました。定員を超える応募があった中、先着順の三十名と、すでに自主サークル・ユネスコEESCで活動しているメンバーが運営のサポートを兼ねて参加しました。

講座では、広島(平和公園、宮島)を案内する場合に必要な知識や英語表現、日本の年中行事の紹介の仕方などを学びました。また、梶田先生がいろいろな国の方と接してこられた豊富な経験談がとても興味深く、皆さん熱心に聞いていました。今回フィールドワークはアンケート結果により希望者の多い平和公園に決定。六月十二日(日)晴天の中、公園内の碑等を巡りその場所と意味を確認しました(写真)。地元にながら知らないこともたくさんあり、英語以外でも大変ためになる講座でした。最終日は、外国人講師として、広島大学のアンドリユー先生が講義。テンポのよい楽しい授業で、英語での道案内の仕事などを練習しました。

## 国際交流イベント にご参加ください

広島ユネスコ協会では、毎年他の国際交流団体とともに、国際交流、国際協力を目的とした「べあせろべ」、「国際交流協力の日」に参加し、多くの成果をあげています。

### 〈べあせろべ〉

第二十二回目となるべあせろべは、十月十六日(日)、広島市内の国際交流・協力関係団体などの企画の下に、中央公園芝生広場で開催されます。当初から参加している当協会は、来場の子どもたちに楽しんでもらおうと、竹とんぼづくり、竹馬あそび、凧づくりなどの伝承あそびやパネル展示を行っています。ことしも同様の企画で参画の予定です。スタッフを募っています。是非ご参画ください。

### 〈国際交流・協力の日〉

国際交流・協力の日は、十二月四日(日)、国際会議場とその周辺ひろばで行われます。これは、広島平和文化センターを中心に多くの市民団体が参画して行われるもので、市民・在住外国人が多く参加します。当協会も資料や映像でユネスコ活動を紹介する予定です。役員、会員のみならずの参加をお願いします。

### 【自主サークル活動日】

- ・日時/毎月第一・三水曜日 十八時三十分から
- ・場所/青少年センター
- ・会費/月千円

### 外国からの情報の整理整頓も大切

#### ユネスコ活動全国大会に参加して

理事 清水昌法

ユネスコ創設六十年という記念すべき年の民間ユネスコ活動全国大会に、昨年に続いて参加することが出来たことを嬉しく思います。

開会式では、名古屋ユネスコ協会若鯨組(青年部)の活動報告や今から五十四年前に日本が初めて国際機関であるユネスコ

#### 七年目の

#### ヒロシマ・スタディ

杉並ユネスコ協会

理事 板倉徳枝

(杉並ユ協青年部が今年三月二十九日、来広。見学、講話、宿泊など広島ユ協のアレンジで広島訪問が始まったのが99年。今年七年目を迎えたのを機に毎年引率して来広される同協会板倉理事に寄稿していただいた。) 毎年十二月になると、青年たちから「ヒロシマ・スタディはいつになりますか」という声がかかります。平均十二名の高校・大学生と共に「ヒロシマを

に復帰した、当時のユネスコ総会での日本加盟承認の採決の瞬間の映像放映がありました。このユネスコへの加盟は国際社会に復帰する第一歩となり、さらには国際連合への加盟の道が開ける重要な事柄であったことを知りました。

次に、大会の目玉であるシンポジウム、青木保氏、寺島実郎氏や藤原帰一氏による「文化の多様性と平和の展望」がありました。議論を聞いて思ったことは、現在の日本の外交は対米中心であり、そのことにより今後

知る旅」も今年の三月で七回目となりました。毎年、私たちは「旅」の始めに高橋さん(注：広島ユ協副会長)の被爆体験の講話をいただき、シヨックを受け、知らないことの多さに気づかされます。そして、回を重ねていく度に新たな学びを得てきました。広島ユ協のご尽力により、一般公開されていない場所を訪れる機会をいただき、杉並ユ協青年部にとってヒロシマ・スタディ・ツアーは、不可欠な活動となりました。

毎回、参加者は感想をまとめ一冊の報告書を作り上げ、翌年へと繋いでいきます。今年の参加者の主な関心は「被爆者の高

気がつけばヨーロッパやアジア諸国から孤立している状況が起ころうるのではないかと、疑問が感じられました。議論の中で、「北朝鮮の拉致問題にしても、日本のマスコミは『北朝鮮は国際社会から孤立している。』と、盛んに報道されているが本当にそうなのか?ヨーロッパから見れば、北朝鮮と日本どちらが孤立しているか解らないのではないか?」との内容の発言があり、実際、私は日本のテレビ局・ラジオ局からたくさん情報を得ていると思っていました

「年齢」でした。案内をしてくださったピース・ボランティアの芳野さんの「私は生命の続く限りこの目で見えた事実を伝えていきたい、ガンと闘いながら」ということばを受け、参加者は、自分の世代へヒロシマを伝え広めてゆかねばならないと、語ってくれました。また、もっと多くの若者たちが広島を訪れ、これからの核の問題を議論すべきだとも語ってくれました。

全ては広島ユ協の協力なしには実現しないことで感謝しております。来年もお邪魔します。

加者の主な関心は「被爆者の高

が、よく考えると沢山の情報であつても元は日本の報道機関一種類だけで、外国の生のニュースは余り得ていませんでした。今思い出せば、三十年前の中

学生当時は、親から短波ラジオを買ってもらい、夜中に一生懸命BBC・モスクワ・パチカシ・北朝鮮放送等の日本語放送でその国のニュースを聞くことが嬉しかった時期がありました。現在はインターネットで、韓国・中国・東南アジア及び中南米等の新聞各社の日本語版を読み、多くの情報を得ることが

#### 事務局からお願い

《書き損じはがき回収運動にご協力ください》

広島ユネスコ協会は、日本ユネスコ協会連盟のすすめる書き損じはがき回収運動に協力しています。住所を間違ってしまった、印刷しすぎて余った、古くて使えない、などの理由でポストに投函されていない未使用の官製はがきを事務局までお届け下さい。これは、寺小屋運動の一環で、たくさんのはがきが集まれば大きな力となります。昨年度、事務局に寄せられたはがきは、五百十四枚でした。

出来ませんが、昔同様なかな情報の整理整頓が出来ていません。今回シンポジウムに参加し、情報は日本だけでなく他からも得て、その整理整頓をする事の大切さをつくづく感じた実のある全国大会でした。最後にありますが、翌日愛知万博に行きました。大変人が多く入口の際の手荷物検査に一時以上かかり疲れました。しかし、手荷物の無い人はすぐに入れたようですので、今から行かれる方は手荷物は持参せずに行くようにしましょう。

#### 《世界遺産、世界寺小屋運動パネルのご利用を》

当協会では、世界遺産や世界寺小屋運動などを広く市民の皆さんに理解していただくために、協会連盟から、啓発用パネルを購入し、貸し出しを行っています。これまでも、多くの公民館での展示や、べあせろべ、国際交流・協力の日などのイベントで展示を行い、多数の市民の方の目にふれております。会員の皆さんが何かのイベントなどで使う機会があれば、積極的に利用していただきたいと思います。

事務局長・山本(八三三二四六六)までご連絡下さい。

# 戦後六十年記念行事

## ヒロシマ平和映画祭'05開催

戦後、ヒロシマ、戦争と平和をテーマに製作・上映されてきた劇映画、プロ・アマチュアの手になるドキュメンタリー作品を網羅して公開する。これを通して、反戦・平和の動きと願いがどのように映像に刻み込まれてきたか、戦後六十年を節目にその軌跡を俯瞰する。

上映は、七月末のプレイベン

トと、十一月上旬の本行事に分けて行われる。広島ユ協は、後援事業とし、実行委員会に委員を派遣し、参加協力チケットの頒布の協力などを行う。参加希望者は当協会平和部会(亀井)まで。

主催 ヒロシマ平和映画祭実行委員会

委員会



共催 ひと・まちネットワーク  
後援 広島ユネスコ協会、広島市文化財団、他  
助成 広島市、国際文化財団ヒロシマ平和基金

### プレイベント

□「マヌケ先生」上映  
大林宣彦監督作品  
大林宣彦監督トーク

▽日時 七月三十日(土)11時  
▽会場 市民交流プラザ6階  
▽参加協力券 千五百円  
□在広映像作家作品上映  
▽日時 (A) 7月30日16時半 (B) 7月31日11時半 (C) 7月31日17時半  
▽会場 市民交流プラザ6階  
▽参加協力券 千円

### 本イベント

□映画 原爆の子、二十四の瞳 愛と死の記録、千羽鶴 はだしのゲン、他

▽日時 11月5日～13日

▽会場 サロンシネマ、映像文化ライブラリー他

□テレビ・ドキュメンタリー

～在広放送局制作作品上映

▽日時 11月7日～12日

▽会場 市民交流プラザ

### 日誌

#### 1月

14日「楽しいハンゲル」開講

2月18日まで

16日ユネスコ新春フェスタ、ユネスコ活動表彰式、篠笛演奏(梶川純司さん・美沙子さん)、記念パーティ

8日全国高校ユネスコ研究会(以下高校研究会)へ広島市の補助金内定

22日ひろしま国際交流サミット(広島ガーデンパレス)

#### 3月

18日高校研究会開催準備会(会長、部長ほか、広大附高)

26日「台湾の中の日本」(県立ロン「台湾の中の日本」)

28日「台湾の中の日本」(県立ロン「台湾の中の日本」)

28日「台湾の中の日本」(県立ロン「台湾の中の日本」)

28日「台湾の中の日本」(県立ロン「台湾の中の日本」)

28日「台湾の中の日本」(県立ロン「台湾の中の日本」)

28日「台湾の中の日本」(県立ロン「台湾の中の日本」)

28日「台湾の中の日本」(県立ロン「台湾の中の日本」)

28日「台湾の中の日本」(県立ロン「台湾の中の日本」)

28日「台湾の中の日本」(県立ロン「台湾の中の日本」)

28日「台湾の中の日本」(県立ロン「台湾の中の日本」)

26日国際学院大学立町キャンパス(第三回理事会。高校研究会大会大会テーマ、予算、推進・支援対策などのほか、協会総会に向けての準備協議(国際学院大学立町キャンパス)

27日杉並ユネスコ青年部国内スタディー(証言・高橋副会長)

2日高校研究会要項検討会

9日第四回理事会。高校研究会大会支援体制づくりについて(事務所)

14日高校研究会について広大附高と協議会

17日高校研究会第一回実行委員会(国際学院大学立町キャンパス。日ユ協連組織部長を招いて北川会長らと協議)

18日日ユ協連組織部長、北川会長、高校研究会について県教委ほかをあいさつまわり

11日英会話講座開講、6月15日まで全六回

16日役員改選選考委員会(事務所)

21日高校研究会実行委員会準備会議

27日会計監査

28日第二回高校研究会大会実行委員会。開催要項、全体会・分科会の内容検討(国際学院)

10日江田島青年の家下見、打合せ

1日高校研究会参加者募集開始、三十日まで

1日第百十九回ユネスコサロン「盧武鉉政権下の韓国社会」大邱市での一年間の暮らしの中から(藤井正一常任理事、まちづくり交流プラザ)

1日二〇〇五年度総会(同プラザ)

6日高校研究会マスコミ各社報道依頼

7日高校研究会大会支援委員会(参加要請対策検討、事務所)

8日～15日高校研究会参加要請学校訪問、電話要請(市内一円、県内)

18日第三回高校研究会大会実行委員会。役割分担、プログラムの確認、今後の日程協議(広大附高)

4日高校研究会大会支援委員会。役割分担検討

7日高校研究会プログラム中、宮島視察について宮島町に依頼

9日第四回高校研究会大会実行委員会。役割分担、プログラムの最終確認、今後の日程について協議(広大附高)

10日江田島青年の家下見、打合せ